

# 「あおり家庭教育10か条」が 実を結ぶちょっとしたヒント。

これらは、しつけとして、  
昔から当たり前のように言われてきたことです。

親はもちろん、おじいちゃんやおばあちゃん、  
そして近所のおじさん、おばさんからも  
愛情とともに教わったもの。

「昔から」を「古い」ではなく、  
「ずっと大切なこと」ととらえ、  
子どもにしっかり伝えていきましょう。

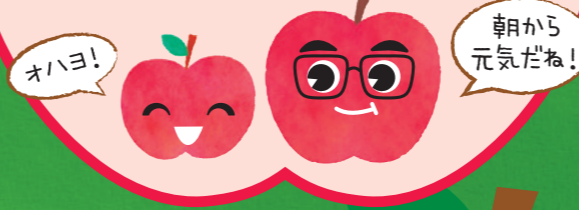
## あいさつの 習慣をつけよう

あいさつは「魔法のことば」です。たったひとりで、  
相手との距離が縮まります。自分から声をかける  
方がうまくいくことも教えてあげましょう。何より  
気分がいいですから。



## 子どもの生活リズム をつくろう

子どものやる気と元気は、規則正しい生活習慣から。  
キーワードは「早寝早起き朝ごはん」。まずは朝一  
番、カーテンを大きく開けて朝日を浴びましょう。  
そうすれば、おなかもちょうどすきます。



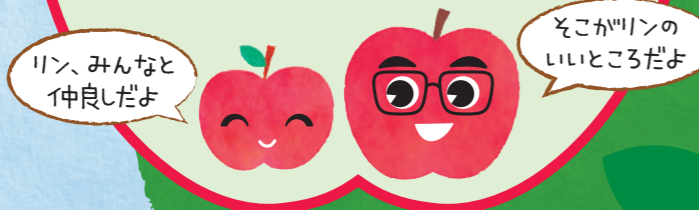
## 家族の会話を 大切にしよう

家族だから言わなくてもわかる。つい、そう思いが  
ちです。でも、会話はコミュニケーションの基本。  
話をよく聴く、思ったことを伝える。その行ったり  
来たりが家族の絆を深めてくれます。



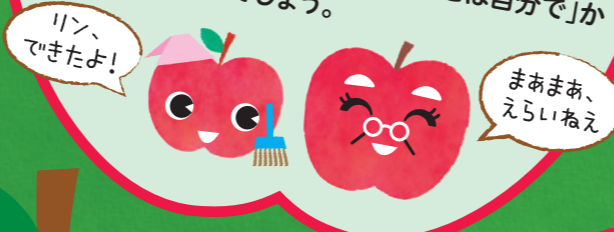
## 子どものいいところ を伸ばそう

子どもにとってほめられることは、心の栄養になり  
ます。認められているという安心感が生まれ、自分  
を大切にできるようになります。一つ叱ったら三つほ  
めるぐらいのバランスを心がけましょう。



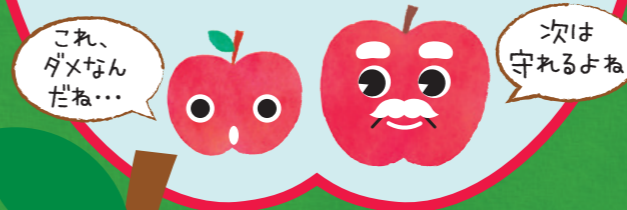
## 家族の一員としての 役割を持たせよう

家族はチームのようなもの。子どもに成長に応じた  
ポジションを与えましょう。責任感、自立心など、  
得られるものが多いはず。「自分のことは自分で」か  
ら始めるのがよいでしょう。



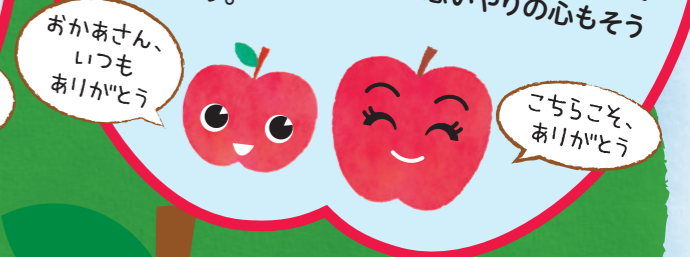
## 社会生活の ルールを教えよう

社会にはルールがあることを教えましょう。子ども  
がそれを守れなかったときがチャンスです。なぜそ  
のルールがあるのか説明してあげましょう。大人が  
手本を見せることも大切です。



## 感謝と思いやりの 心をはぐくもう

「ありがとう」を言われるうれしさを実感すれば、  
人にも感謝を伝えられるはず。大人が率先して  
「ありがとう」を言いましょう。思いやりの心もそう  
して育ちます。



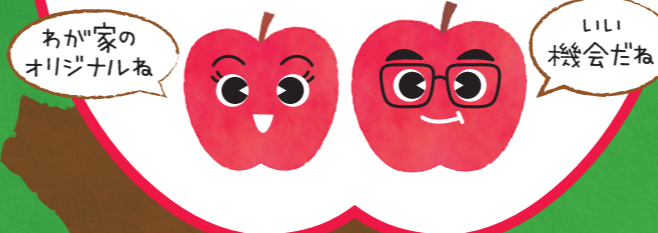
## いろいろな 体験をさせよう

家庭以外での遊びや活動は、子どもが直接社会と  
かかわる貴重な体験。「気づき」や「学び」があり、ひ  
とまわり大きく成長するきっかけになります。地域  
の行事にも積極的に参加させてみましょう。



## わが家の 1か条を決めよう

わが家で大切にしたいことを、  
みんなで話し合ってみましょう。



## うちの子もよその子も みんなで育てよう

子どもは地域の未来です。住みよい地域にしようと  
思うなら、うちの子にもよその子にも等しく接しま  
しょう。親同士が子育てのことを話し合うのも、  
きっとプラスになります。

